

定例会議会議録

開催日時	令和5年2月8日(水) 午前10時00分～午後0時15分
開催場所	特別会議室、公安委員会室
区分	『全体会議』議題・要旨
【報告事項】	<p>1 第387回県議会(2月定例会)の開催日程等について 総務部長から、「2月定例会の会期は、2月14日(火)から3月17日(金)までの32日間を見込んでいる。警察関係の議案について、予算議案は、令和5年度宮城県一般会計当初予算及び令和4年度宮城県一般会計補正予算(第10号)が提案される。警察本部関係の歳出は、551億7,445万8千円を計上し、補正予算は5億4,637万9千円の増額である。予算外議案は、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例の一部改正」、「暴力団排除条例の一部を改正する条例」、「公安委員会関係手数料条例の一部を改正する条例」の議案が提出される。警察関係報告(専決処分)は、交通事故等に係る和解及び損害賠償の額の決定6件である。代表質問は2月24日(金)、一般質問は2月28日(火)から3月3日(金)までの4日間開催される見込みである。」旨の報告があった。</p> <p>2 令和4年度警察官・一般職員採用試験実施結果について 警務部長から、「警察官A・Bの受験者数は、昨年度より86人減少し、競争倍率は最終合格者数の減少により4.2倍に増加した。86人のうち、大学卒業の警察官採用が減少している。サイバー捜査官と再採用選考考査は、実施したが最終合格に至らなかった。一般職員については、警察事務のほか、少年警察補導員、犯罪鑑識、情報処理技術、航空整備、障害者を対象とした警察事務の職種で募集した。一般職員最終合格者12人のうち、2人が就職氷河期を対象とした採用である。 採用募集活動について、オンライン個別相談やインスタグラムを開設し、宮城県警察学校オープンキャンパスを3年振りに開催した。今後も、警察の魅力アピールし、受験者の確保に結びつけたい。」旨の報告があった。</p> <p>委員：サイバー捜査官が、最終合格にいたらなかったが、サイバー捜査官の運用はどのようになっているのか。 警務部長：選考考査ではなく、一般で採用された警察官の中から、サイバー犯罪捜査検定などを実施してスキルアップを図り、専門技術を身につける育成を行っている。 委員：採用活動の面は、警察だけではなく、民間も同様に苦慮している。 引き続き、地道な募集活動を実施していただきたい。 警務部長：承知した。</p>

区分	『個別審議等会議』
【決裁事項】	<p>1 課及び職の新設並びに職員派遣に伴う知事に対する協議について 警務課企画官から、課及び職の新設並びに職員派遣に伴う知事に対する協議について説明がなされ、審議の上、決裁が行われた。</p> <p>2 銃砲刀剣類所持等取締法に基づく許可取消しにかかる聴聞の実施について 生活安全企画課管理官から、銃砲刀剣類所持等取締法に基づく許可取消しにかかる聴聞の実施について説明がなされ、審議の上、決裁が行われた。</p> <p>3 地域交通安全活動推進委員の新規委嘱の上申について 交通事故総合分析室長から、地域交通安全活動推進委員の新規委嘱の上申について説明がなされ、審議の上、決裁が行われた。</p>

【報告事項】	4 道路交通法の規定に基づく意見の聴取等 交通聴聞官から、運転免許取消処分に係る意見の聴取等の結果、19件の報告と説明がなされ、審議の上、量定が行われた。
	1 特殊詐欺被害防止広報用DVD制作による被害防止対策について 地域課管理官から、特殊詐欺被害防止広報用DVD制作による被害防止対策について、報告があった。
	2 公安条例許可申請について（令和5年1月分） 警備課管理官から、公安条例許可申請について、報告があった。
	3 小型無人機等の飛行に関する通報書の受理について（令和5年1月分） 警備課管理官から、小型無人機等の飛行に関する通報書の受理について、報告があった。